

児童氏名: _____ 生年月日: (才 ヶ月) 性別: 男・女

記入者氏名: _____ 児童と記入者の関係: _____ 記入日: _____ 年 月 日

記入の方法

このチェックシートは、お子さんの感覚-運動機能の発達状態を知るためのものです。各々の項目に対して、できるだけ正確にご記入をお願いいたします。記入方法は、各々の質問に対して、お子さんの現在の状態がもっともあてはまる回答を、項目番号右の白い空欄に、下記のに従い、数字・記号で記入してください。

- 0 : まったくない
- 1 : ごくたまにある
- 2 : 時々ある
- 3 : 頻繁にある
- 4 : いつもある
- × : 質問項目にあてはまらない。(例えば、項目内容が、お子さんの状態に合わない等)
- ? : わからない。(例えば、項目内容を、これまで経験したことがない等)

項目番号

1		滑り台など、滑る遊具を怖がる。
2		非常に長い間、自分一人であるいは遊具に乗ってぐるぐる回転することを好む。
3		粘土、水、泥、砂などの遊びを他の子供よりも過度に好む。
4		粘土、水、泥、砂などの遊びを嫌がる。
5		手でなんでも触ってまわる。
6		抱かれたり、手を握られたりすることを嫌う。
7		洗面・洗髪・散髪・歯磨き・爪切り・耳かき等を嫌がる。
8		そばに人が近づくと、ずっと逃げる。
9		呼びかけても、振り向かないことがある。
10		理由もなく周囲をうろうろしたり、動き回ったりしている事が多い。
11		いろいろな物が見えると、気が散りやすくなる。
12		座っている時や遊んでいる時に、繰り返し頭を振ったり体全体を揺らす等の癖がみられる。
13		つま先歩きをすることが多い。
14		固い物(食物以外)を口に入れ、噛んでいることがある。
15		偏食がある。
16		特定の音に非常に過敏な反応をする。
17		回転物(車のタイヤの回転、換気扇、扇風機など)を見つめることを好む。
18		転びやすかったり、簡単にバランスを崩しやすい。
19		体がぐにやぐにやして、椅子から簡単にずり落ちそうな座り方をしている。
20		風船や動物などを、そっと握ることができず、握り方の加減がわからない。

系列

A

B

JSI-mini

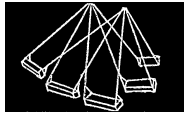
Japanese Sensory Inventory - mini

JSI研究プロジェクト事務局

ホームページ: <https://jsi-assessment.info>

連絡先: プレイジム 太田篤志 (兵庫県姫路市飾磨区英賀宮台51)





児童氏名: _____ 生年月日: (才 ヶ月) 性別: 男・女

記入者氏名: _____ 児童と記入者の関係: _____ 記入日: _____ 年 月 日

スコア換算の方法

A系列合計点(左側に回答欄のある8項目)、B系列合計点(中央に回答欄のある8項目)、全20項目の合計点を算出し、判定表の各合計点欄に記入します。項目13は、A、Bどちらの系列にも加算します。次に、各合計点の右にある換算表より、各合計点を3段階評価尺度(Green、Yellow、Red)へ変換します。

この評価尺度は、4才から6才までのお子さんを対象に保護者が評定した場合のデータをもとに作成しています。対象児が、この年齢にあてはまらない場合、また保護者以外が評定した場合、その解釈には、注意が必要です。

Green	典型的な状態 (約75%の子どもたちに見られる状態です)
Yellow	若干、感覚刺激の受け取り方に偏りの傾向が推測される状態 (約20%の子どもたちに見られる状態です)
Red	感覚刺激の受け取り方に偏りの傾向が推測される状態。すなわち、ある刺激に対して過敏であったり、鈍感であるような状態 (約5%の子どもたちに見られる状態です)

判定表	各合計点	Green	Yellow	Red
A系列: 感覚探求		~~~4	5~~~8	9~~~
B系列: 感覚過敏		~~~3	4~~~6	7~~~
総合評価(全項目合計点)		~~~10	11~~~17	18~~~

使用上の注意 (本バージョンは、試行版です。今後、変更・修正の可能性があります)

- 1) JSI-miniは、あくまでも行動の特徴/特性を捉えるためのもので、行動の優劣を測定するものではありません。
- 2) JSI-R-miniの結果は、必ずしも感覚刺激の受け取り方の偏りだけを反映するものではありません。
- 3) 感覚統合機能の評価のためには、JSI-miniの結果のみならず他の検査、観察より総合的に判断する必要があります。
- 4) JSI-miniは、評定者が異なる場合、その結果に差が見られることがあります(例えば、ある児童を保護者と療育者で評定した場合など)。これは、各々の評定者が、対象児童の別の行動側面を把握しているために生じると考えられます。対象児童の包括的な理解のために、JSI-miniは、立場の異なる複数の評定者によって施行されることをお勧め致します。
- 5) JSI-miniを療育(治療)効果測定の手段として用いる場合、同一評定者による結果を用いて比較されることを強くお勧め致します。
- 6) このサマリーシートは、今後の研究成果を反映し随時更新される予定です。
下記ホームページより絶えず最新版を入手し使用されることをお勧めいたします。

JSI-mini	Japanese Sensory Inventory - mini
JSI研究プロジェクト事務局	
ホームページ: https://jsi-assessment.info	
連絡先: プレイジム 太田篤志 (兵庫県姫路市飾磨区英賀宮台51)	

